



▲沿道の人たちが見守る中をパレード車がすべるように走る



▶丘陵地帯が多いため登坂車線が設けられた

▼菊水ICのすぐ北で菊池川を渡る



▼南関IC



昭和四十六年六月、植木〜熊本間約十四キロ、四十七年十月、南関〜植木間約二十二キロが開通し、九州にも本格的に高速道路が登場することになりました。昭和四十一年に工事に着手して以来、順次作業が進められ、昭和六十年頃までには、北九州市から鹿児島・宮崎までの全線開通をめざしています。これが完成しますと、熊本はもちろん、九州の産業経済に大きな役割を果たすだけでなく、全国で建設が進められている高速道路網と一体になって、国土発展の動脈になるものと期待されています。

▶南関ICでのテープカット。(10・21)



◀北熊本サービスエリア